

組合員名簿

(2021年10月現在)

SDGs宣言会社

北海道

●北海道

●(株)辻商会	旭川市	TEL.0166-47-2771
(有)まるぶく八田商会	上川郡	TEL.0165-34-2457
(株)アシスト・フクダ	函館市	TEL.0138-48-2000
(有)プロス	江別市	TEL.0111-380-2633
(株)ピークル	苫小牧市	TEL.0144-51-8008
(株)ケーエー車輛	北広島市	TEL.0111-377-5577
(株)空知オートパーツ	赤平市	TEL.0125-34-4100
●(有)オカダオートパーツ	河西郡	TEL.0155-62-6833
●釧路オートリサイクル(株)	釧路市	TEL.0154-57-3718
●(株)ポールド	北見市	TEL.0157-66-5775
(株)ライズコーポレーション	札幌市	TEL.0111-802-2121
(株)南商会	札幌市	TEL.0111-882-1770

東北

●青森県

(有)むつパーツ	むつ市	TEL.0175-22-1021
(株)エコブリッジ	八戸市	TEL.0178-38-6558

●秋田県

(有)サン・アール	由利本荘市	TEL.0184-22-5740
(株)現代	鹿角郡	TEL.0186-29-3990

●岩手県

(有)三陸パーツセンター	下閉伊郡	TEL.0193-81-1155
--------------	------	------------------

●山形県

(株)永田プロダクツ	酒田市	TEL.0234-43-1272
------------	-----	------------------

●宮城県

(株)西武オートパーツ	大崎市	TEL.0229-23-3071
(有)大友自動車工業	名取市	TEL.022-386-2461
(株)アイエス総合	登米市	TEL.0220-21-5153

●福島県

(株)福島リパーツ	郡山市	TEL.024-946-1180
(有)安澤商店	西白河郡	TEL.0248-27-1736
(有)富山商会金屋工場	郡山市	TEL.024-944-1280
(株)オートセンターNAO	大沼郡	TEL.0242-55-1055
(株)ナプロアース	伊達市	TEL.024-573-8091
(有)カンジ自動車商会	福島市	TEL.024-555-5131
(株)デック	いわき市	TEL.0246-47-1521
(有)榎並商会	郡山市	TEL.024-944-4100

北関東

●茨城県

(株)茨城オートパーツセンター	小美玉市	TEL.0299-48-1398
(有)田崎商店	結城市	TEL.0296-32-1893
(有)ポブラ	那珂市	TEL.029-350-6501

●栃木県

(株)栃木パーツ	佐野市	TEL.0283-23-3256
●(有)しのぶや みどり工房	那須郡	TEL.0287-74-3077
オートパーツ・イワイ (有)岩井自動車商会	宇都宮市	TEL.028-662-2287

●群馬県

●(株)拓殖商会	伊勢崎市	TEL.0270-76-3683
カーステール(株)	前橋市	TEL.027-251-6365
カーステール(株) 東毛営業所	太田市	TEL.0276-56-6411

●新潟県

●(株)共伸商会	新潟市	TEL.025-255-4111
(有)黒埼部品	新潟市	TEL.025-377-2410
リ・パーツ(株)坂井自動車	新潟市	TEL.0250-61-0501

●埼玉県

(株)3R	久喜市	TEL.0480-26-3559
●(株)CRS埼玉	川越市	TEL.049-228-5111
リバー(株) ELV川島	比企郡	TEL.049-299-2733

南関東

●東京都

(有)オートパーツ片岡	西多摩郡	TEL.042-556-2735
三協自動車(株)	調布市	TEL.03-3300-0685

●千葉県

(有)オートパーツ千葉	匝瑳市	TEL.0479-73-0830
(株)トキオ	佐倉市	TEL.043-498-2461

(有)オートサービス東関	千葉市	TEL.043-257-9449
(有)リサイクルガレージケーワン	船橋市	TEL.047-457-5758
(有)ベストパーツ	市原市	TEL.0436-24-4182
リバー(株) ELV柏	柏市	TEL.04-7190-0980

●神奈川県

(株)大橋商店	横浜市	TEL.045-761-6551
(株)ユピック	横浜市	TEL.045-642-5423
日産プリンス神奈川販売(株)	大和市	TEL.046-200-2301
カスタマーサービス部リサイクル事業室		
(有)トライアル	横浜市	TEL.045-595-3035
●(株)杉之岡	小田原市	TEL.0465-46-1082
(株)コエイ リサイクルパーツ・厚木店	厚木市	TEL.046-220-1441

●山梨県

●(株)テラダパーツ甲府営業所	中巨摩郡	TEL.055-287-7761
-----------------	------	------------------

●静岡県

(株)ヤタパーツ	沼津市	TEL.055-921-9678
●(株)マルトシ青木	藤枝市	TEL.054-644-5656
太田部品(株)	御殿場市	TEL.0550-89-5110
(株)コーエイ	浜松市	TEL.053-462-1128
オレンジパーツ平成	静岡市	TEL.054-253-5646
(株)アンドーカーパーツ	下田市	TEL.0558-28-0939

北陸

●富山県

(株)ハセ川自動車	滑川市	TEL.076-477-7111
●(有)山一商店	小矢部市	TEL.0766-67-2721
(有)堀川自動車商会	氷見市	TEL.0766-74-3022

●石川県

(有)ツクダ自動車	白山市	TEL.076-276-1593
(株)金沢ヨコイ部品	金沢市	TEL.076-239-4510
(株)リベア	七尾市	TEL.0767-57-2114
(有)メタルオート北陸	小松市	TEL.0761-21-0168

●福井県

(有)サンシャインネットパーツ	福井市	TEL.0776-57-1236
(株)ナカスジオオートパーツ	坂井市	TEL.0776-51-3253
(株)リトラスパーツセンター	越前市	TEL.0778-43-1701
R-FACTORY	越前市	TEL.0778-43-5844

東海

●長野県

(有)小諸パーツセンター	小諸市	TEL.0267-23-7588
●(株)アートパーツ長野	松本市	TEL.0263-40-2100
(株)ハセ川自動車長野営業所	中野市	TEL.0269-24-7124
(株)ハセ川自動車松本営業所	松本市	TEL.0263-50-5095
●(株)テラダパーツイダ	下伊那郡	TEL.0265-49-8522
●(株)テラダパーツ諏訪営業所	諏訪郡	TEL.0266-78-3538

●岐阜県

KMI (株)	養老郡	TEL.0584-36-0022
エコパーツ岐阜(株)	可児市	TEL.0574-62-2328
(有)山一商店高山営業所	高山市	TEL.0577-35-5963

●愛知県

(有)名古屋解体メカイパーツ	名古屋市	TEL.052-736-4741
●(株)カーグリ・コマゼン	弥富市	TEL.0567-68-4182
(株)テラダパーツ	刈谷市	TEL.0566-22-3709
●(株)吉田商会	豊橋市	TEL.0532-53-3907
(有)佐竹自動車部品	豊田市	TEL.0565-52-0015
アーク(株)	北名古屋市	TEL.0568-48-7577
(有)サイトウパーツ	豊川市	TEL.0533-86-2408
(有)川原商会	一宮市	TEL.0586-62-1757
(有)ジーパーツ	知多郡	TEL.0569-74-1007
(株)ワーブ	岡崎市	TEL.0564-27-7022
●(株)テラダパーツ半田営業所	半田市	TEL.0569-25-0045

●三重県

(有)オートパーツまるも	四日市市	TEL.059-329-3987
(有)富士クラッチ工業所	四日市市	TEL.059-325-6623
(株)マーク・コーポレーション	鈴鹿市	TEL.059-371-6330

関西

●滋賀県

(株)カンザキ	東近江市	TEL.0748-22-1389
---------	------	------------------

●京都府

(株)エコパーツ京都	八幡市	TEL.075-983-9991
(株)ラ・テール	京都市	TEL.075-681-3431
(株)金子商会	舞鶴市	TEL.0773-82-0130

●大阪府

吉村エコパーツ	羽曳野市	TEL.072-958-3454
(株)多田自動車商会大阪営業所	大阪市	TEL.06-6682-8861
(株)桜井 大阪支店	大阪市	TEL.06-6551-7777

●兵庫県

(株)多田自動車商会	三木市	TEL.0794-83-0162
(株)堀尾自動車部品	姫路市	TEL.079-298-4650
(株)桜井	尼崎市	TEL.06-6414-2222

●和歌山県

(株)草山パーツ	和歌山市	TEL.073-477-0532
(株)紀南パーツ	日高郡	TEL.0739-84-2222

中四国

●岡山県

クレストパーツ (株)中村解体	倉敷市	TEL.086-446-2041
●(株)桃太郎部品	岡山市	TEL.086-244-1100
岡崎車輛部品(株)	瀬戸内市	TEL.0869-66-8511
ウエイパーツ(有)和気商店	岡山市	TEL.086-243-6059

●広島県

●(株)福山セコ	福山市	TEL.084-953-3201
エコテクノ(株)	広島市	TEL.082-832-0345
●(株)エビス	安芸郡	TEL.082-884-1111
エコテクノ(株)	広島北支店	TEL.0826-72-0333

●山口県

(株)オートパーツ幸城	宇部市	TEL.0836-44-2412
-------------	-----	------------------

●鳥取県

●(有)東和	東伯郡	TEL.0858-52-2998
●(有)西川商会	鳥取市	TEL.0857-28-9011

●島根県

●(有)山陰UP販売	安来市	TEL.0854-23-2466
(株)山陰エコ・リサイクル	松江市	TEL.0852-72-9301
島根オートリサイクルセンター	出雲市	TEL.0853-25-9000

●香川県

(株)佐伯商会	高松市	TEL.087-840-3133
---------	-----	------------------

●愛媛県

(有)オートパーツ新居浜	新居浜市	TEL.0897-67-1577
(株)予洲商事	今治市	TEL.0898-32-0384

●徳島県

徳島オートパーツ(有)	板野郡	TEL.088-672-7773
(有)青木興業	小松島市	TEL.0885-32-1875

●高知県

(有)みうら	高知市	TEL.088-833-2072
(有)國興商店	四万十市	TEL.0880-35-6181

九州

●福岡県

(株)グッバー福岡	朝倉郡	TEL.0946-23-8093
●(有)イノクチ	筑後市	TEL.0942-53-7617
(株)エイ・ティ・エム	京都府	TEL.093-435-2082
大成自動車(有)	粕屋郡	TEL.092-623-7000
●WARC西日本オートリサイクル(株)	北九州市	TEL.093-752-3270
●(有)オートリサイクルナカシマ福岡	筑紫野市	TEL.092-926-6298

●長崎県

(株)パーツライン	佐世保市	TEL.0956-33-1532
●(株)アール・トーヨー	長崎市	TEL.095-884-2781

●大分県

●(株)オートリサイクルナカシマ	日田市	TEL.0973-23-0327
オートパルス ニホウ	宇佐市	TEL.0978-34-0034

●熊本県

●(株)パーツランド東部	合志市	TEL.096-248-2333
●(株)オートパーツ伊地知熊本営業所	熊本市	TEL.096-364-0238
(有)まこと商会	八代市	TEL.0965-37-1371

●宮崎県

(有)ユービー宮崎	北諸県郡	TEL.0986-52-7054
-----------	------	------------------

●鹿児島県

●(株)オートパーツ伊地知	鹿児島市	TEL.099-267-0468
(有)鹿児島パーツ	南九州市	TEL.0993-56-1066
(有)タバタ商会	鹿屋市	TEL.0994-43-2068



自動車リサイクルに貢献する全国ネットワーク

NGP SDGs REPORT 2021



NGP UPCYCLE PROJECT

このレポートは、使用済み自動車の中から回収した取扱説明書をリサイクルした紙を使用しています。
NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合では通常廃棄されるようなものから価値あるものへ生まれ変わらせるアップサイクルに取り組んでいます。

詳しくは NGP ホームページ

<https://www.ngp-gr.jp/upcycle/>



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合
株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3-25-33長田ビル2F
TEL: 03-5475-1208 FAX: 03-5475-1209
<https://www.ngp.gr.jp>



NGP SDGs REPORT 2021



Index

トップメッセージ.....	3
SDGs 宣言と2030年の目標.....	4
目標に対しての2021年度活動報告（2020年9月～2021年8月）.....	6
2021年度の活動報告.....	10
沿革.....	22
組合概要.....	23

トップメッセージ

国連の気候変動に関する政府間パネル、IPCC が評価報告書を公表し地球温暖化の科学的根拠について示されました。前回の報告書では温暖化の原因が人間の温室効果ガス排出によるものかどうかについて「可能性が極めて高い」との表現でしたが、今回の報告書では「人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と断言されました。気温上昇のペースも加速しており「2050年ごろに二酸化炭素と他の温暖化ガス排出量を大幅に削減してネットゼロにしない限り、21世紀中に1.5度と2度の両方を超える」と明記されました。

日本を含め先進各国は、2050年カーボンニュートラルを掲げておりますが、中国をはじめとする新興国では目標の共有化がされていません。先進国においては、今回の報告書により計画の見直しが必要かもしれません。

地球温暖化への対策は待ったなしと考えます。世界各地でおきる森林火災や洪水、熱波だけではなく、永久凍土の溶解が進んでおります。永久凍土には

大量のメタンガスがあり、溶解が進めば進むほど、地上に放出される懸念もあります。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は、2019年7月にSDGs宣言を行いました。

SDGsの理念である「誰一人取り残さない」持続可能な社会を実現するためには、地球温暖化対策だけではなく、3Rの徹底も非常に重要であると考えます。

NGPのSDGs宣言は「人と車と地球にやさしく自動車リサイクル事業を通して、子どもたちと地球の未来を考えます」を掲げており、自動車リサイクルを通じて廃棄物の発生抑制やリユースの促進、素材の再資源化の推進だけではなく、環境保全の大切さも未来を担う子どもたちに伝える活動を行う事で持続可能な社会の実現に向け取り組んでまいります。

2021年9月

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合
理事長 佐藤幸雄



人と車と地球にやさしく
自動車リサイクル事業を通して、
子どもたちと地球の未来を考えます。

2030年NGPの目標

使用済自動車約1,000万台から2,000万点以上の自動車リユース部品の生産と適正なリサイクル処理を実施し、50万トン以上のCO₂削減に貢献します。

香川県豊島の産業廃棄物（自動車破砕くず等）不法投棄により失われた自然を取り戻す環境再生活動を行い、環境保全と3Rの大切さを後世に伝える活動を行います。

私たちは自動車リサイクル事業でSDGsの達成に貢献しています。



NGP SDGs MODEL

使用済み自動車から始まる「循環型社会の構築」



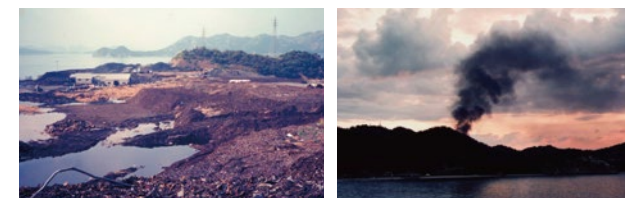
香川県瀬戸内海にある「豊かな自然に恵まれた島」

1990年に国内最大級といわれる産業廃棄物の不法投棄事件が発覚！その廃棄物とは使用済み自動車の破砕くず（シュレッダーダスト）や、汚泥、廃油であり、不法投棄は1970年代後半から始まり、不適切な焼却による児童の健康被害や、土壌からは高濃度のダイオキシンや鉛・水銀・カドミウム等が検出されました。2003年から廃棄物の撤去が始まり、廃棄物の量は93万トン以上、処理費総額は700億円以上。2018年、撤去が終わったと思われた土壌から新たな廃棄物610トンが発見されたものの、こちらの撤去作業も完了し、地下水の浄化についても、大部分にて「排水基準（※1）」に到達してきていますが、リバウンドの懸念が残っています。2023年3月に産廃特措法の期限が迫っており、それまでに遮水壁を撤去し、排水基準を達成した

地下水が瀬戸内海に流れだした後、自然の浄化力によって「環境基準（※2）」を達成できることを目指しています。

「環境破壊の再生には長い年月がかかり、その代償は後世が払うということ」

豊島問題は経済成長のもと、大量生産、大量消費、大量廃棄という効率を求められる社会の中、都会で発生した大量のゴミが小さな島に押しつけられるという社会問題でした。私たちの地球は資源の枯渇、増加する廃棄物、温暖化問題など深刻な状況にあります。更なるリサイクル化を徹底し限りある資源の有効利用を進め、ごみの排出量を抑制することで環境負荷を低減し、持続可能な社会の実現を目指す必要があります。



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合では、使用済み自動車の適正処理を高度化し、その使用済み自動車から有効に活用する「リサイクル部品」を社会に提供して、求められる資源循環型社会構築への使命を果たすとともに、人々の豊かな暮らしと、子どもたちの未来のために、「人」と「車」と「地球」にやさしい組織活動を推進してまいります。

※1「排水基準」：工場排水を川や海に流してもよいとされる基準
※2「環境基準」：人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持することが望ましいとされる基準

目標に対しての 2021 年度活動報告 2020 年 9 月～2021 年 8 月

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGP が販売したリユース部品の 90 品目（左右ある部品を含むと 115 品目）を対象に算出した数値です。NGP の産学共同研究の成果については専用ホームページ「NGP エコプロジェクト」で公開しています。



リサイクル部品を利用することで CO₂削減

目標 CO₂削減値 50 万 t 以上

GOAL

あとわずか！

2021 年
CO₂削減値
27,635 t (t-CO₂)

目標生産数 2000 万点以上

リユース部品の
生産販売実績
約 107 万点 2021

1000 万点

目標処理台数 1000 万台以上

使用済み自動車
処理台数
約 57 万台 2021

2030 2016

500 万台
ここで
半分！

使用済み自動車
約 57 万台から
部品を再利用

2021 年
CO₂削減値
27,635 t (t-CO₂)

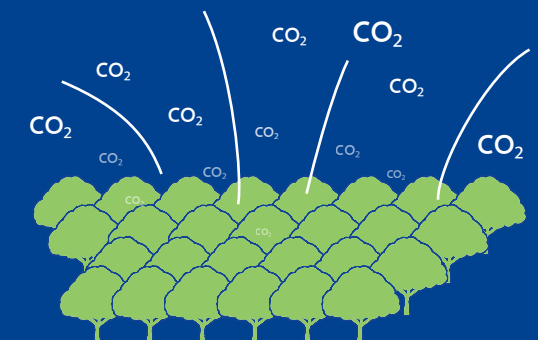
今ここ！

ブナの木約 251 万本分の
CO₂吸収量に相当

ブナの木 1 本は年間約 11 kg*の CO₂を吸収するといわれています

*ブナの木 1 本あたりの CO₂吸収量は、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所調べ

〔試算条件：樹齢 100 年、立木密度 500 本/ha のブナ林で、ブナの木 1 本あたりの平均値を算出。〕
この数値はひとつの例であり、地域が違えば異なる数値になる。



2020 年までの累計削減値
129,766 t (t-CO₂)

2021 年までの
達成削減値
157,401 t (t-CO₂)

2030

GOAL

2030 年までの目標

香川県豊島の産業廃棄物（自動車破砕くず等）不法投棄により失われた自然を取り戻す環境再生活動を行い、環境保全と 3R の大切さを後世に伝える活動を行います。

14 海の豊かさを
やろう

15 陸の豊かさも
やろう

NGP の目指すゴール

国立公園にふさわしい姿へ原状回復
豊島事件のようなことが二度と繰り返されないよう、環境教育の場として活用
適切な方法で管理し、持続可能な形で次世代に引き継ぐ

2030 年までに不法投棄現場すべてが、国立公園にふさわしい姿にもどることを目指して活動していきます。

豊島国立公園原状回復活動

2021 年 4 月・6 月

不法投棄がされる前の、豊かな自然に恵まれた国立公園としてふさわしい姿を取り戻すため、「柚の浜」荒廃地の整備として、本来ここには生えていない笹の根や切り株、雑草等の除去作業を行いました。
今後整地され、オリーブの木が植えられる予定です。



不法投棄現場見学

2020 年 10 月・2021 年 2 月・4 月・6 月

毎回、初参加の参加者は、豊島での活動の意義を知ることと目的に「不法投棄現場」や「豊島のこころ資料館」の見学を行い、豊島事件の重大さ・深刻さや、現在も作業が続く現場を見ることで環境の再生には長い年月がかかることを肌で感じています。



海岸漂着ごみ回収

2020 年 10 月・2021 年 4 月・6 月

瀬戸内海のごみ問題は深刻であり、豊島も同様に海ごみの漂着先となっていることから、綺麗な島を守るためにペットボトルやバイなどの漁業ごみ、プラスチック類などの海岸漂着ごみの回収作業を行っています。2021 年からは、活動場所を「柚の浜」に拡大しました。



オリーブ収穫

2020 年 10 月

オリーブの販売による収益が、瀬戸内オリーブ基金の活動資金になり豊島の環境保全と 3R の大切さを後世に伝える活動に利用されることから、同基金が栽培しているオリーブ収穫のお手伝いを行い、豊島の持続可能な地域経済に寄与しています。NGP が収穫したオリーブは 55.7kg。2019 年の約 2 倍となりました。



オリーブの植樹と石碑の設置

2021 年 2 月

NGP として今後数十年に渡るかもしれない環境保全・再生活動に対する決意をこめて、オリーブの木の植樹と石碑の設置を行いました。石碑には失われた自然を回復し、未来の子供たちに引き継ぐための想いが込められています。



石碑には「よみがえれ！豊島
次の世代へ」のメッセージ

豊島とオリーブの関係

豊島への廃棄物の持ち込みから、公害調停の最終合意までに 25 年を要しました。長い戦いが終わり、「豊島を昔のような緑あふれる島に戻したい」という住民の想いから、2000 年に島の再生と希望のシンボルとして、香川県の県木でもあり平和の象徴のオリーブを植樹したのが、現在も続く緑化活動のルーツです。



5 月から 6 月に白く小さな
花を咲かせる
花言葉は「平和」と「知恵」



瀬戸内オリーブ基金への寄付活動

基金への寄付・募金活動と香川県豊島の環境保全・再生活動を行っています。
廃車 1 台ごとに、また、リサイクル部品を使用することで得られる CO₂ 削減量に応じて寄付金を「瀬戸内オリーブ基金」へ寄付しています。



2021 年 寄付金

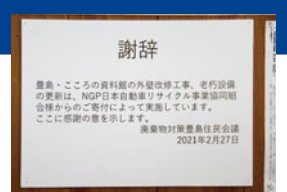
豊島のこころ資料館の補修に利用されます。

目録を贈呈



(写真左) NGP 鈴木専務理事
(写真右) 瀬戸内オリーブ基金 岩城理事長

豊島のこころ資料館の外壁補修



「豊島のこころ資料館」は、「豊島事件を二度と起さない、起させない」環境教育の場として非常に重要な資料館ですが、老朽化が進んでいたため、NGP の寄付金の一部を利用して外壁補修が行われました。



NGP UPCYCLE PROJECT



2021.2 「NGP アップサイクルプロジェクト」始動



2021.2

「第 17 回 LCA 日本フォーラム表彰」にて
「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞



2021.2

NGP 協同組合が「第 24 回中小企業組織活動懸賞レポート」にて「本賞」を受賞



2021.2

豊島にオリーブの植樹と石碑の
設置



環境省
ローカルSDGs

2021.3

環境省ローカル SDGs
企業等登録制度に登録

バーチャル
工場見学

自動車
リサイクルを
見てみよう！



2021.5

「NGP バーチャル工場見学会」開始



2021.6

豊島小中学校へアップサイクルした「環境教育
ノート」を寄付



2021.4～6

「逆境を追い風に！ NGP 大感謝プレゼント
キャンペーン」開催



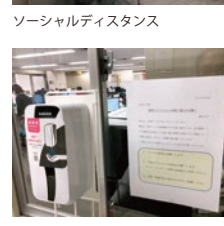
2021.03



2021 年度新型コロナウイルス感染予防対策

組合事務局・(株) NGP 本部事務所のおもな感染対策

- ▶ 感染者発生時の濃厚接触者抑制のため本部近隣ビルに仮事務所を設置し、事務所・人員を分散
- ▶ 社員密集による感染リスク回避のため、在宅勤務 / シフト勤務により出勤率抑制
- ▶ 在宅勤務の環境整備 (対象者全員にパソコン、携帯支給)
- ▶ 出社時も就業時間短縮 / オフピーク通勤の適用でリスク抑制
- ▶ 通退勤時および執務中のマスク着用
- ▶ 社内入室時の手指のアルコール消毒実行
- ▶ 自宅での健康チェック、毎日の検温
- ▶ やむを得ず出張する場合は、出張前に必ず抗原検査を実施



ソーシャルディスタンス

入口にアルコール消毒ディスペンサー

NGPの組合員支援策の概要

1. NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合支援策
賛助会員を含む全組合員の本年度分賦課金免除 (6月から8月)
2. (株) NGP 支援策
NGP システム利用料の免除 (6月から8月)
3. テレワーク支援策
NGP システムを遠隔で利用できる環境を提供



NGP システムを遠隔利用



組合員各社も徹底した感染予防対策を実施した



2021.6

「ビー・フォワード社」と業務提携



2021.8

令和 3 年 8 月の大雨 (佐賀県・福岡県)
被災車両引き上げ支援

2021.08

2021



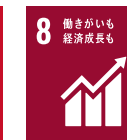
2020.10 第 16 回通常総会開催

2020.10
豊島の環境保全・再生活動



2020.09

子どもたちへの教育支援



NGP アップサイクルプロジェクト

～廃車となった自動車の取扱説明書が
「環境教育ノート」に生まれ変わる～

これまで廃棄物となっていた廃車の取扱説明書を資源として有効活用し、子どもたちに3Rの大切さを自動車リサイクルの流れを通じて勉強してもらうための、「環境教育ノート」に生まれ変わらせる「NGP アップサイクルプロジェクト」が2021年2月にスタートしました。



自動車の取扱説明書から
リサイクルノートができるまで

01

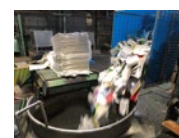
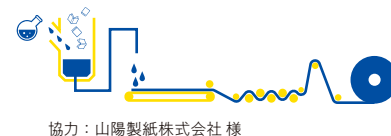
全国の NGP 組合員の
自動車リサイクル工場で
回収された取扱説明書を集積

使用済み自動車の解体時に、取扱説明書を回収します。



02

原紙を製紙



集められた取扱説明書を
ミキサーに投入します



溶解してパルプにします。



金網の上に吹き出して
シートを作ります。



乾燥された紙のシートを
巻き取り原紙が完成。

03

環境に配慮した印刷

環境に優しいインク「ノン VOC インキ」を使用
して、再生紙に印刷・製本します。

協力：株式会社大川印刷 様

石油系有機溶剤を全く
含まないインキ



04

通常廃棄になる自動車の取扱説明書が
「環境教育ノート」に生まれ変わりました



斑点はリサイクルの証
原料の取扱説明書が、
斑点模様として見られます。

※製造工程でも環境に配慮し、使用電力の100%再生可能エネルギーの利用を目指す企業と協力して製作

バーチャル工場見学会

コロナ禍でも学びの場を子どもたちへ。



コロナ禍で校外学習の機会が減少する中でも安心・安全の見学・体験学習の場を提供したいとの思いから、Web 会議システムとアップサイクルした「環境教育ノート」を活用した「NGP バーチャル工場見学会」を2021年5月より開始しました。

ポイント 1

WEB 会議システム (ZOOM 等) の利用

WEB 会議システムを活用し、リモートで動画や資料を使って授業を進めることで、教室にしながら安心・安全の環境で自動車リサイクルについて学ぶことができます。



ポイント 2

動画を使った工場見学

実際に工場を訪問しなくても、まるで工場にいるかのような工場見学動画を利用して授業を進めていきます。



ポイント 3

見学で使うノートは、廃車の取扱説明書を
アップサイクルしたものを利用

左のページでも紹介した、廃車になった自動車の取扱説明書を再生利用した「環境教育ノート」を使って工場見学を行うことで、自動車リサイクルの流れを勉強するだけでなく、資源を繰り返し使うことや、ゴミを減らすことの大切さも学ぶことができます。



バーチャル
工場見学会

2021年8月20日

(株) マーク・コーポレーション

三重県

鈴鹿市立神戸小学校の5年生
100名を対象にバーチャル工場
見学会を行いました。



組合員へのSDGsの普及・促進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsの達成には、1団体の取組みだけでなく、取組みを拡大させていくことが不可欠なため、全国のNGP組合員1社1社にもSDGsの輪を広げています。

SDGs宣言会社一覧

(株) 辻商会	(株) CRS 埼玉	(株) テラダパーツイダ	(株) 桃太郎部品	(株) アール・トーヨー
(有) オカダオートパーツ	(株) マルトン青木	(株) テラダパーツ諏訪営業所	(有) 東和	(株) パーツランド東部
釧路オートリサイクル (株)	(株) 杉之間	(株) テラダパーツ半田営業所	(有) 西川商会	(有) イノクチ
(株) ボールド	(株) 山一商店	(株) 吉田商会	(株) エビス	WARC 西日本オートリサイクル (株)
(株) 共伸商会	(株) カーグリーコマゼン	(株) アートパーツ長野	(株) オートリサイクルナカシマ	(有) オートリサイクルナカシマ福岡
(株) 拓殖商会	(株) テラダパーツ	(株) 福山セコ	(株) オートパーツ伊地知	
(有) しのぶやみどり工房	(株) テラダパーツ甲府営業所	(有) 山陰 UP 販売	(株) オートパーツ伊地知熊本営業所	

(株) 共伸商会 「第1回新潟SDGsアワード」にて「奨励賞」受賞

同社は、地域創生プラットフォーム「SDGsにいがた」準備会が開催する、「第1回新潟SDGsアワード」において「奨励賞」を受賞しました。

同社は昨年12月にSDGs宣言を行い活動を開始。社内で勉強会を開催するなど、社内でもSDGsの取組を活発化させていく中で、今回の応募に至りました。

応募内容は、「32万トン以上のCO₂削減と埋立処分をゼロにする活動」というタイトルで、自動車リサイクル部品を活用したCO₂削減や、自動車から発生する素材の100%再資源化をSDGsに紐付けたものです。

同社の佐藤常務は、SDGs達成のため活動を継続していきたいと述べています。



(株) 吉田商会 「豊橋市SDGs推進パートナー」参加企業の代表として取材

東愛知新聞の企画で、同社が愛知県豊橋市の「豊橋市SDGs推進パートナー」の参加企業の代表として取材されました。同社の吉田社長が、SDGsに取組んだきっかけや、2030年への目標達成に向けて思いを語っており、紙面の一面を特集記事で飾っています。同社は、豊橋市が推進する「豊橋市SDGs推進パートナー」に認定され、SDGsへのさまざまな取組を積極的に行っています。吉田社長は、今後もSDGsの活動を継続し、その実績をPRしていくことが重要だと述べています。



(株) 桃太郎部品 SDGs／ESG金融を活用して地元小学校に「環境教育ノート」を寄付

2021年7月2日、SDGs／ESG金融を活用して、岡山市立御南小学校にアップサイクルした「環境教育ノート」800冊の寄贈を行いました。

御南小学校は、同社の岸本社長の子供たちも通った小学校であり、少しでも3Rを学ぶきっかけになればとの思いから今回の環境教育ノートの寄贈に至りました。寄贈された「環境教育ノート」は、自動車リサイクルの流れを通じて、分別して繰り返し使うことや廃棄物の発生抑制の大切さを勉強してもらうために活用されます。



(株) リペア 七尾市に500万円寄付

2021年5月13日、同社は、「子どもたちが健やかに育つ環境整備など、より良い街づくりに役立ててほしい」という思いを込めて、石川県七尾市へ500万円を寄付しました。

今年創業50周年を迎えた同社は、これまで支えられてきた地域の皆様に感謝の気持ちを伝える取り組みを検討し、未来を担う子どもたちのためにできることを考え、今回の寄付に至りました。

今後、地域貢献に向けた取り組みについて従業員全員で話し合い、SDGs宣言へとつなげていく予定です。



(株) オートパーツ伊地知 地元の小・中学生の工場見学を受入れ

2021年7月15・16日、地元の小・中学生合計316名の工場見学を受け入れました。

鹿児島市立松元中学校の1年生240名(7月15日)はSDGs研修の一環として、鹿児島市立星峯東小学校の5年生76名(7月16日)は環境やリサイクルについて学ぶ社会科見学です。

同社がSDGsへの取組みに力を入れており、鹿児島市の環境学習の拠点施設「かごしま環境未来館」の登録団体にもなっていることから、中学生のSDGs研修の受入れは初めて実現しました。

子どもたちは、工場で廃車となった自動車がリサイクルされる工程を見学し、アップサイクルした「環境教育ノート」を使用しながら自動車リサイクルとSDGsの関わりや、分別やゴミを減らすことの大切さ、オートパーツ伊地知の取組について学びました。

※新型コロナウイルス感染防止の観点から、参加者全員がマスク着用の上で実施しました



WARC 西日本オートリサイクル (株) 新型コロナ対策支援私募債を発行

SDGs／ESG金融を活用して、新型コロナウイルス最前線で戦う医療従事者の方々と感染防止体制の維持・強化に貢献することを目的としたSDGs私募債を発行しました。

同社の高野社長は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界中が危機に晒されている中で、SDGsが目指す『誰一人として取り残さない世界を、みんなで一緒に』を実現するために、新型コロナウイルスと最前線で戦う医療従事者への支援、地域医療の維持・強化に貢献したいと強く考え、今回のSDGs私募債の発行に至りました。



NGP 産学共同研究



NGP 産学共同研究リユース部品・リビルト部品の追加調査を実施

2013 年 5 月より、NGP・富山県立大学・明治大学と進めていた「自動車リサイクル部品産学共同研究会」は、2016 年にリユース部品 50 部品、2017 年にはリユース部品 40 部品の CO₂削減効果についての追加調査を実施し、研究成果として NGP の売れ筋 90 部品「91.4%」の CO₂削減数値を算出しました。

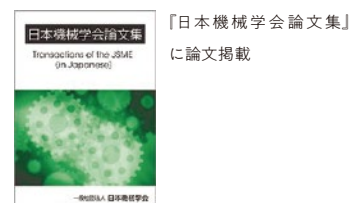
2020 年 9 月～ 2021 年 8 月は、新型コロナウイルス感染拡大防止

の観点から引き続き WEB での会議実施となりましたが、リユース部品を各大学に送り追加調査を実施しました。

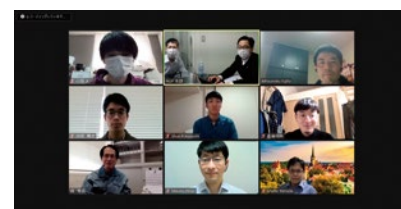
また、NGP 産学共同研究会のメンバーである明治大学大学院 理工学研究科 機械工学専攻 修士 2 年（当時）小林峻氏が中心となって執筆し、リユース部品やリビルト部品を題材にした論文が、『日本機械学会論文集』に掲載されました。

主な活動

2020.09.18	「第 58 回自動車リサイクル部品産学共同研究会」	実施	※WEB 会議
2020.10.14	「第 59 回自動車リサイクル部品産学共同研究会」	実施	※WEB 会議
2020.11.18	「第 60 回自動車リサイクル部品産学共同研究会」	実施	※WEB 会議
2020.12.23	「第 61 回自動車リサイクル部品産学共同研究会」	実施	※WEB 会議
2021.01.13	「第 62 回自動車リサイクル部品産学共同研究会」	実施	※WEB 会議
2021.03.01	「第 63 回自動車リサイクル部品産学共同研究会」	実施	※WEB 会議
2021.04.23	「第 64 回自動車リサイクル部品産学共同研究会」	実施	※WEB 会議
2021.05.21	「第 65 回自動車リサイクル部品産学共同研究会」	実施	※WEB 会議
2021.06.25	「第 66 回自動車リサイクル部品産学共同研究会」	実施	※WEB 会議
2021.07.30	「第 67 回自動車リサイクル部品産学共同研究会」	実施	※WEB 会議



「日本機械学会論文集」
に論文掲載



NGP の産学共同研究の成果については専用ホームページ「NGP エコプロジェクト」で公開しています。
<https://www.nepp.jp>



研究成果のリサイクル部品の CO₂削減効果値は、NGP がリサイクル部品を販売時に発行する見積書・納品書・請求書・検査証に記載されています。

2021 年には産学共同研究と研究成果を活用した取組みが、
2 つの賞を受賞しました。

・「第 17 回 LCA 日本フォーラム表彰」にて「経済産業省 産業技術環境局長賞」を受賞

LCA 日本フォーラムが主催する令和 2 年度「第 17 回 LCA 日本フォーラム表彰」において、「LCA を用いた自動車リサイクル部品の CO₂削減効果の定量化と実用化 ～産学連携による研究と研究成果を活用した普及・啓発～」をテーマに応募し、最高賞である「経済産業省 産業技術環境局長賞」を受賞しました。自動車のリサイクル部品の環境貢献度の定量的評価を詳細かつ継続的に実施している点やそれを活用した事業展開、大学との共同研究による現場ベースの検討、国内外の学会における継続的な発表、積極的な情報公開によるリサイクル部品の認知度向上などが評価されたものです。

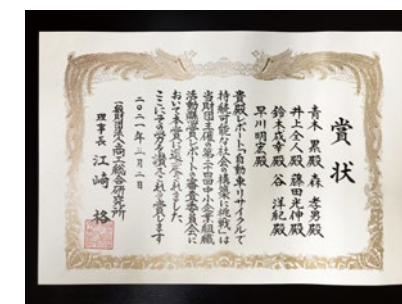
2021 年 2 月 25 日に表彰式と記念講演が行われました。



・「第 24 回中小企業組織活動懸賞レポート」にて「本賞」を受賞

一般財団法人商工総合研究所が募集した 2020 年度「第 24 回中小企業組織活動懸賞レポート」において、「自動車リサイクルで持続可能な社会の構築に挑戦 ―産学連携による自動車リサイクル部品の環境負荷低減効果の研究と啓発―」をテーマに応募したレポートが「本賞」を受賞しました。

2021 年 3 月 2 日にオンラインで授賞式が行われ、産学共同研究という一定レベルまで達したらやめてしまう活動が多い中で、学会発表や活動を記録として残し、継続して取り組んでいることが評価として挙げられました。

2022 年度版の
報告事項

※2022 年度の報告事項であるため、詳細は 2022 年度版にてお知らせいたします。

・「第 22 回グリーン購入大賞」にて「大賞・経済産業大臣賞」を受賞

グリーン購入ネットワークが運営する「グリーン購入大賞」は、「持続可能な調達」を通じて、グリーン市場の拡大に貢献した取り組みや SDGs の目標達成に寄与する取り組みを表彰しており、「自動車リサイクル部品でカーボンニュートラルに貢献 ～削減効果の定量化と研究成果を活用した普及・啓発～」をテーマに応募し、「大賞・経済産業大臣賞」を受賞しました。2021 年 7 月に応募し、2021 年 11 月 24 日に受賞が確定。



・「令和 3 年度気候変動アクション環境大臣表彰」を受賞

環境省の主催する「気候変動アクション環境大臣表彰」は、気候変動対策推進の一環として、顕著な功績のあった個人・団体をたたえるために創設され、「自動車リサイクル部品の CO₂削減効果の研究を活用したカーボンニュートラルに向けた普及・啓発」をテーマに応募し、同賞を受賞致しました。2021 年 7 月に応募し、2021 年 11 月 22 日に受賞が確定



「ビィ・フォード社」と業務提携



2021年6月14日に中古車輸出大手の株式会社ビィ・フォードと、リユース部品の海外販路拡大を目的とした業務提携を行いました。同社は、2019年度「133,125台」の中古車輸出実績と、205の国と

地域と取引実績があり、車両販売の事業拡大を続けていく中で、修理に必要な自動車部品に対するニーズも高まっていました。一方、NGPでは、リユース部品の海外への販路を模索しており、そのような両社の思惑が一致し、今回の提携に至りました。リユース部品の海外への流通拡大を行うことで、SDGsの達成に寄与していきます。



交通遺児育英会の活動支援



保護者の交通事故が原因で経済的に修学が困難となる子どもたちが一人でも減ることを願ってNGPは1991年より30年間売上の一部を交通遺児育英会の「あしながおじさん奨学金制度」に寄付しています。



ベルマーク運動



●2012 年 2 月ベルマーク協賛加盟

2011年3月11日に発生した「東日本大震災」をきっかけに、全国の子どもたちのためにベルマーク支援活動を開始



ISO 一括合同認証取得 ～NGP「4つ」のISO一括合同認証取得～



- 2016 年 9 月：「ISO9001/14001/27001」を業界初となる一括合同認証取得
- 2018 年 11 月：「ISO45001」を追加取得

組合員会社135社のうち103社※が取得。
全社取得に向け鋭意邁進中！

※2021年9月時点



NGP はこれら ISO マネジメントシステムに裏付けられた組合活動・企業経営により、自動車リサイクル事業を通して地域社会とお客様、さらにはすべてのステークホルダーの皆様のご期待にお応えする活動を推進していきます。

「逆境を追い風に！ NGP 大感謝プレゼントキャンペーン」開催



2021 年 4 月1日～ 6 月30日までの 3 か月間「逆境を追い風に！NGP 大感謝プレゼントキャンペーン」を開催。

NGP リユース部品についているギャランティシールを3枚一口にして応募いただきました。ギャランティシールにはベルマークがついて

おり、応募前にベルマークを最寄りの小学校などの参加団体へ寄贈をするよう促しました。

今回は過去最高となる、44,729 通の応募をいただきました。



NGPリサイクル部品に貼付される「NGP ギャランティシール」にベルマーク5点を付与



「廃車王ご成約キャンペーン」開催



2021 年 2 月1日～ 2 月28日までの 1 か月間「廃車王ご成約キャンペーン」を開催。

キャンペーン期間中に「廃車王」を利用して引き取りが完了したお客様の中から、抽選で JCB ギフト券をプレゼントしました。

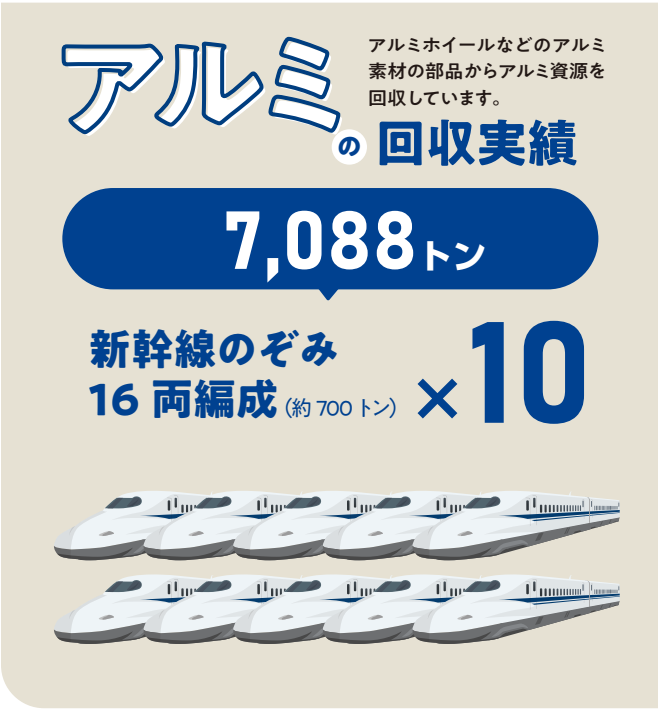
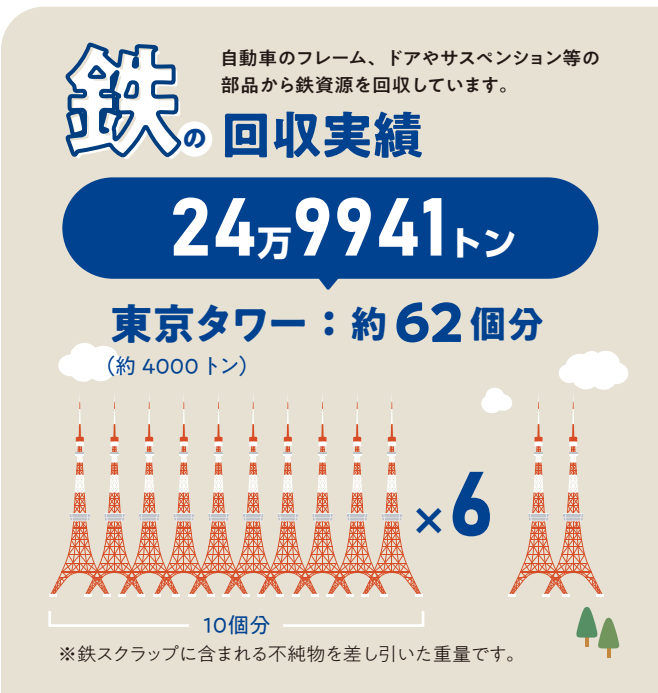


組合の資源回収実績

自動車には、鉄をはじめとする様々な素材が使用されています。NGP では、使用済み自動車から再利用可能な部品を取り外した後、部品として再利用できない部分は、素材ごとに徹底的に分別して



最大限のリサイクルを行い、資源循環によって持続可能な社会に貢献しています。



令和 3 年 8 月の大雨 (佐賀県・福岡県) 被災地の復興支援



NGP は地震や豪雨による洪水や土砂などの被害を受けた車両の引き上げ、処理活動などを通して被災地支援を行っています。東日本大震災をはじめ、様々な震災において車両の引き上げ作業はその後の復興の手助けとなります。

NGP では、今後も積極的に被災地支援活動を行っていきます。



九州地方を中心に大きな被害をもたらした令和 3 年 8 月の大雨を受け、2021 年 8 月 16 日に対策本部を設置。8 月 18 日に佐賀県武雄市、福岡県筑紫野市にヤードを設置し、被災車両の引き取りをスタートしました。

昨年に引き続き、コロナ禍という厳しい環境下での作業となりましたが、NGP 九州支部組合員の全面協力のもと、感染防止対策を徹底して作業に当たりました。



感染防止対策

お客様訪問時の対策

- ▶訪問前に必ず抗原検査を実施
- ▶マスクを着用して訪問
- ▶消毒用アルコールと除菌ペーパーを携帯
- ▶面談時、ソーシャルディスタンスを保持 (最低でも 1 m 以上)
- ▶正面で向かい合っでの会話はなるべく回避
- ▶サイン等をお願いするときは、お客様の目の前でボールペンを消毒し手渡す (携帯用アルコール又は除菌ペーパー等を使用のこと)

ヤード内での対策

- ▶作業前に必ず抗原検査を実施
- ▶マスクを着用して作業
- ▶毎朝の検温
- ▶仮設事務所の消毒の徹底
 - 事務所内で使用する設備機器・道具類は、使用する都度消毒し、かつ、朝・昼・晩は、定時に消毒作業を行うこと
 - お預かりした書類・鍵も消毒のこと
- ▶仮設事務所の三密の回避
 - 定期的な換気をする
 - 好天時の打合せは事務所外で実施のこと
- ▶引取時使用する車両の消毒の徹底
 - 特に運転席、ドアの取っ手等

1985年	4月	九州3社により「西日本グッドパーツグループ」としてスタート
1987年	3月	本部設立、事務所を福岡に開設
	4月	「日本グッドパーツ (NGP) グループ」に名称変更
1989年	6月	NGP オンラインネットワーク完成
1990年	11月	株式会社エヌ・ジー・ピーを設立 (現：株式会社NGP)
1991年	1月	「NGP ニュース」を創刊
1995年	11月	「日本自動車リサイクル部品販売団体協議会」発足、同協議会加盟
1998年	10月	「リサイクル部品協力店」14,000 店達成
2000年	5月	大東京火災海上保険 (株) (現：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社) との間でリサイクル部品供給、及び全損車両回収業務提携
2001年	10月	トヨタ部品共販株式会社へリサイクル部品供給開始
2002年	2月	第1回国際オートアフターマーケット EXPO2002 出展
2003年	9月	NGPグループ本部を東京都港区に移転
2004年	10月	「NGP日本自動車リサイクル事業協同組合」設立 (経済産業省所管)
2005年	5月	日本自動車車体整備協同組合連合会に賛助会員として入会
	6月	NECソフトとの協同開発による新NGPシステム完成
	9月	NGPシステムとJAPRAシステム相互利用に合意
	11月	廃車買取リサイト「くるマック」全国展開 (現：廃車王)
	12月	日本自動車車体整備協同組合連合会とNGPダイレクト試験運用開始
2006年	6月	マツダ部品販売株式会社 (現：マツダ・パーツ) へリサイクル部品供給開始
	8月	あいおいエコパートナーへのNGPダイレクトシステム展開 BSサミット会員へのNGPダイレクトシステム展開
	10月	ロータス会員へのNGPダイレクトシステム展開
	12月	エコプロダクツ 2006 に出展 (以降、毎年出展)
2007年	1月	JA 共済連と全損車輛回収の業務提携
	2月	NPO 法人世界 (旧：広島未来グループ) 入会
	5月	早稲田大学・JAPRA・NGP共同でCO ₂ 削減効果のデータベース構築
	7月	オートバックスセブンと車輛引取りの業務提携
	9月	ISO9001 認証取得 (NGP組合本部)
2008年	4月	株式会社損害保険ジャパンと全損車両回収の業務提携
	9月	海外向けNGP個社ダイレクトシステム運用開始
2009年	3月	リターナブル梱包材運用開始
	10月	「コンピュータ画像検索システム」テスト運用開始
2010年	3月	「クレーン情報検索の電子化」で情報収集
	9月	再生資源回収利用協会視察団 (中国) 来日
	10月	韓国リビルト工業会と交流覚書の調印

	10月	ユーザー向けに優良な整備事業者を紹介するWebサイト「NGPエコひろば」開設
2011年	4月	東日本大震災被害車両の回収活動実施
	7月	部品ごとの「CO ₂ 削減効果の見える化」を開始
2012年	4月	リユース部品にベルマークをつけてベルマーク運動に協賛
	10月	業界初のテレビCM 放映開始
2013年	1月	NGP 青年部発足
		全国自動車整備協業協同組合協議会とのリサイクル部品流通に関する提携合意調印
	4月	「マフレ・フランティ・ジャパン」と業務提携
	5月	「自動車リサイクル部品産学共同研究会」を発足
	12月	廃車買取リサイト「くるマック」を「廃車王」にリニューアル
2014年	3月	「東日本自動車解体処理協同組合」と業務提携
	7月	「自動車リサイクル関連総合サービスサイト」を開設
	10月	かんたん钣金見積システム「ぱっと!くん」をあいおいニッセイ同和損保と共同開発
2015年	7月	「NGPパーツ王」としてAmazonでリユース部品販売開始
	9月	関東・東北豪雨被災車両の回収復興支援開始
		ISO9001・14001合同認証取得 (組合本部/組合員70社)
2016年	4月	CO ₂ 削減効果値の理論的根拠の発表
	9月	ISO27001合同認証追加取得 (組合本部/組合員101社)
	10月	「中小企業団体全国大会」で優良組合表彰を受賞
		NGP 創立 30 周年記念式典を開催
2017年	3月	ホームページ全面リニューアル
	8月	「NGP産学共同研究会」主要売れ筋部品「91.4%」のCO ₂ 削減効果値を算出
	10月	「ブロードリーフ」と業務提携
2018年	4月	「廃車王」業界初の全国テレビCM 放映
	7月	「平成 30 年7 月豪雨」被災車両の回収復興支援実施
	11月	ISO45001合同認証追加取得 (組合本部/組合員101社)
2019年	7月	SDGs宣言及び取り組み推進活動開始
	9月	九州北部豪雨による被災車輛の回収復興支援実施
	10月	台風15・19号・豪雨による被災車輛の回収復興支援実施 (全国8ヶ所)
2020年	1月	NGPシステム大幅改良 (一般向け形状マスター化)
	3月	外務省「JAPAN SDGs Action Platform」取組事例にSDGs活動掲載
	7月	九州豪雨水害による被災車輛の回収復興支援実施
2021年	2月	「第17回LCA日本フォーラム表彰」にて「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞 「第24回中小企業組織活動懸賞レポート」にて「本賞」を受賞 「NGPアップサイクルプロジェクト」始動
	5月	「NGPバーチャル工場見学会」開始
	6月	「ビィ・フォアード社」と業務提携

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合

●所在地：

[本部]

〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-33 長田ビル 2F

TEL：03-5475-1208

FAX：03-5475-1209

URL：https://www.ngp.gr.jp/

●創立：1985 年 4 月

●代表者：理事長 小林 信夫 (2021 年 10 月就任)

●組合員数：135 組合員、164 拠点

●事業内容：

健全な自動車リサイクル事業の構築を目指し、全国組合員企業の経営意識向上、意識改革までの「企業の社会責任」を遂行し、補修部品の消費者へ啓蒙と販売



NGP 三大信条

「お客様第一！」

「よりよい商品を！より正確に！より早く！」

「補修部品業界のリーダーたること！」

株式会社 NGP

株式会社 NGP は、NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合の関連会社です。

協同組合と一元一体体制のもと、NGP グループ支援を中心に事業展開をしています。

●所在地：

〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-33 長田ビル 2F

TEL：03-5475-1200

FAX：03-5475-1201

URL：https://www.ngp.co.jp/

●設立：1990 年 11 月

●代表者：代表取締役 佐藤 幸雄

●事業内容：

NGPシステムの運営管理

損害保険会社及びリース会社使用済み自動車引取窓口業務

ISO14001 コンサルティング

その他サポート

●許認可：

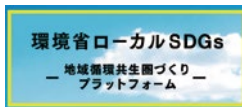
古物商許可：東京都公安委員会第 301090207822 号

引取業者登録番号 :20131004378



Committed to the SDGs

地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム



SDGs の達成には、1 団体の取組みだけでなく、様々な団体と連携しながら取組みを拡大させていくことが不可欠なため、国が設置しているプラットフォームに参加しています。